●実務経験のある教員等による授業科目

K-POPエンタテイメント科

オンラインK-POPビジネスコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	51	51	必修	講義	○	102
	デビュー・就職実務Ⅰ	80		必修	講義		－
	デビュー・就職実務Ⅱ		53	必修	講義		－
	著作権		19	必修	講義		－
	PC実習	54		必修	講義		－
	異文化研究	20	20	必修	講義		－
	総合実務A	32	33	必修	講義		－
	総合実務B	69	69	必修	講義		－
専門科目	韓国語Ⅰ	36		必修	講義		－
	韓国語Ⅱ		36	必修	講義		－
	TOPIKⅠ・Ⅱ	34	34	選択必修	講義		－
	ビジネス韓国語Ⅰ	36		必修	講義		－
	ビジネス韓国語Ⅱ		34	必修	講義		－
	K-POP総合ゼミ	34	34	必修	講義	○	68
	ライヴマーケティングⅠ	34		必修	講義	○	34
	ライヴマーケティングⅡ		34	必修	講義	○	34
	デザイン実習Ⅰ	36		必修	講義		－
	デザイン実習Ⅱ		36	必修	講義		－
	韓国カルチャー	34		必修	講義		－
	デジタルマーケティング		34	必修	講義	○	34
	オンライン韓国語	52	52	必修	講義		－
	オンラインコミュニケーション実践	17	17	必修	講義		－
	課題制作実習	280	280	必修	講義		－
							－
							－
							－
合計	総授業時間数	899					
合計	総授業時間数		836				合計
卒業時最少時間		1735					272

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶（コーディネーター）		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	51	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテイメント分野に対し、実際に音楽・エンタテイメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師としてお呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテイメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテイメントを理解することが出来るようになることである。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテイメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィー、合同会社UNITY　等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅰ			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	80	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響（ここは後期）についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90．0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導② 卒後やアルバイトで役に立つ労働法クイズ
3	第1編1章 メールについて①
4	第1編2章 メール発信のフィードバック、送付状の書き方①
5	第1編3章①　送付状の書き方フィードバック 就職につながるフジロック等アルバイト説明
6	第1編3章② 履歴書の書き方指導、前期期末試験（課題提出）について説明
7	第2編1章 コミュニケーション、敬語
8	第2編2章 コミュニケーション、敬語
9	第2編3章 ビジネス文書（社内・社外）、グラフ
10	第3編1章① 特別講師による講義・レポート提出
11	第3編1章② 特別講師による講義・レポート提出
12	第3編2～5章 社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
13	ジョブカードを使用した進路先確認① 特別講師による講義・レポート提出
14	ジョブカードを使用した進路先確認② 特別講師による講義・レポート提出
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習 特別講師による講義・レポート提出
17	第3編2級課題慶事のマナーなど① 特別講師による講義・レポート提出
18	後期期末試験（課題提出）について説明、進級時特待の案内 特別講師による講義・レポート提出
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題（試験）提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 （コーディネーター）		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	53	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
	就職志望：Ⅰ【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
	就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出
	就職志望：履歴書作成（基本的な作成/志望動機/自己PRなど）と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック
	就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出
	就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策（自己PRの練習）
	就職志望：面接対策（自己PR、志望動機の練習）
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック
	就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
	就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望：：②【活動報告書】の作成と提出
	就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成
	就職志望：②面接対策（自己PR、志望動機の練習）
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）
16	アーティスト志望：：③【活動報告書】の作成と提出
	就職志望：③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
	就職志望：③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望：プロフィールシートの提出
	就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー（内定者）

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	著作権			実務授業の有無	×
担当講師	梅川　洸平		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	19	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	音楽・エンタテイメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用しすることで理解度アップ目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴＆解説
2	Ⅹ章・Ⅰ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
3	Ⅱ章・Ⅲ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
4	Ⅳ章・Ⅴ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
5	Ⅵ章・Ⅶ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
6	Ⅷ章・Ⅸ章 対策授業　PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD（著作権情報センター借用） 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	PC実習			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	54	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集（Word・Excel共に） 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	異文化研究			実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	20	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。 海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション　チーム分け　研究国決定
2	研究①　PP作成
3	研究②　PP作成
4	研究③　PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	総合実務A			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太（コーディネーター）		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	32	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国関連企業や音楽業界へ就職する為には、単に語学や専門知識を学ぶだけではなく、学んだ事を総合的かつ変化する社会に応じて主体的に活用できるようになる事が重要である。□ 前期の就職総合実習の時間では、遠隔での授業のみを実施し、オンライングループワークにおける伝達方法、表現方法を理解し、新しい時代の変化に対応できる力を身に着ける。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オリエンテーション
2	グループワークまたは個人課題の実践①
3	グループワークまたは個人課題の実践②
4	グループワークまたは個人課題の実践③
5	グループワークまたは個人課題の実践④
6	ステージ制作でのスタッフワーク学習①
7	ステージ制作でのスタッフワーク学習②
8	ステージ制作でのスタッフワーク学習③
9	グループワークまたは個人課題の実践⑤
10	グループワークまたは個人課題の実践⑥
11	グループワークまたは個人課題の実践⑦

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	総合実務B			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太（コーディネーター）		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	69	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国関連企業や音楽業界へ就職する為には、単に語学や専門知識を学ぶだけではなく、学んだ事を総合的かつ変化する社会に応じて主体的に活用できるようになる事が重要である。□ 後期の就職総合実習の時間では、前期で学んだ知識に対して、探求や問題解決を繰り返す事で、実社会において活用できるようになる事を目標とする。 また、対面での協調性やコミュニケーション能力を養い、総合スキル・トレーニングを通して、就職に必要となる知識、技能を身につけ、実際の活動においても活用できるようにする。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オリエンテーション
2	グループワークまたは個人課題の実践①
3	グループワークまたは個人課題の実践②
4	グループワークまたは個人課題の実践③
5	グループワークまたは個人課題の実践④
6	グループワークまたは個人課題の実践⑤
7	グループワークまたは個人課題の実践⑥
8	グループワークまたは個人課題の実践⑦
9	ステージ制作でのスタッフワーク実践①
10	ステージ制作でのスタッフワーク実践②
11	ステージ制作でのスタッフワーク実践③
12	ステージ制作でのスタッフワーク実践④およびレポート作成
13	総合スキル・トレーニング①
14	総合スキル・トレーニング②
15	総合スキル・トレーニング③
16	総合スキル・トレーニング④
17	総合スキル・トレーニング⑤
18	総合スキル・トレーニング⑥
19	スクーリング振り返りとレポート提出

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	総合実務A			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太（コーディネーター）		講義実施時期	前期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	33	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国関連企業や音楽業界へ就職する為には、単に語学や専門知識を学ぶだけではなく、学んだ事を総合的かつ変化する社会に応じて主体的に活用できるようになる事が重要である。□ 前期の就職総合実習の時間では、遠隔での授業のみを実施し、オンライングループワークにおける伝達方法、表現方法を理解し、新しい時代の変化に対応できる力を身に着ける。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オリエンテーション
2	グループワークまたは個人課題の実践①
3	グループワークまたは個人課題の実践②
4	グループワークまたは個人課題の実践③
5	グループワークまたは個人課題の実践④
6	ステージ制作でのスタッフワーク学習①
7	ステージ制作でのスタッフワーク学習②
8	ステージ制作でのスタッフワーク学習③
9	グループワークまたは個人課題の実践⑤
10	グループワークまたは個人課題の実践⑥
11	グループワークまたは個人課題の実践⑦

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	総合実務B			実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太（コーディネーター）		講義実施時期	後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	69	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国関連企業や音楽業界へ就職する為には、単に語学や専門知識を学ぶだけではなく、学んだ事を総合的かつ変化する社会に応じて主体的に活用できるようになる事が重要である。□ 後期の就職総合実習の時間では、前期で学んだ知識に対して、探求や問題解決を繰り返す事で、実社会において活用できるようになる事を目標とする。 また、対面での協調性やコミュニケーション能力を養い、総合スキル・トレーニングを通して、就職に必要となる知識、技能を身につけ、実際の活動においても活用できるようにする。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オリエンテーション
2	グループワークまたは個人課題の実践①
3	グループワークまたは個人課題の実践②
4	グループワークまたは個人課題の実践③
5	グループワークまたは個人課題の実践④
6	グループワークまたは個人課題の実践⑤
7	グループワークまたは個人課題の実践⑥
8	グループワークまたは個人課題の実践⑦
9	ステージ制作でのスタッフワーク実践①
10	ステージ制作でのスタッフワーク実践②
11	ステージ制作でのスタッフワーク実践③
12	ステージ制作でのスタッフワーク実践④およびレポート作成
13	総合スキル・トレーニング①
14	総合スキル・トレーニング②
15	総合スキル・トレーニング③
16	総合スキル・トレーニング④
17	総合スキル・トレーニング⑤
18	総合スキル・トレーニング⑥
19	スクーリング振り返りとレポート提出

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	韓国語　Ⅰ			実務授業の有無	×
担当講師	金相範/平川真由美/裵英實		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ヴォーカルコース	

授業概要	ハングルの仕組み、基本発音を学び、基本的な日常会話までできる事を目指す。 また、基本的な日常会話で使われる文法を理解する。 レベル別のクラス編成とし、各理解力に応じた授業展開をする。基本、「最新チャレンジ韓国語」を使用し、後期後半では進度により「ちょこっとチャレンジ」を進めてもよい事とする。 検定前には検定対策を実施。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンス 第1課　ハングルの仕組み/基本母音と合成母音
2	第2課　基本子音(平音、激音、濃音の基本)
3	第3課　合成母音
4	第4課　パッチムと音の変化
5	第5課　私は～です　　名詞の肯定文、否定文、疑問文/かしこまった 「です、ます」体
6	第6課　時間がありますか？有無をあらわす表現　物・家族・位置
7	第7課　それは何ですか？　　これ、それ、あれ、だれの表現/質問して答える
8	第8課　日曜日は何をしますか？　　うちとけた「です・ます」体/数字の表現
9	評価週　前期学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課　何が好きですか？自分の好みやしたい事を表現する/場所を表す単語/変則活用
11	第10課　週末に何をしましたか？　自分のした事を表現する(過去形/願望)
12	TOPIK　対策
13	TOPIK　対策
14	TOPIK　対策
15	第11課　明日は何をするつもりですか？　予定や推測の表現/買い物をする時の表現、語彙
16	第12課　スープが冷たくておいしいです　自分の気持ちを表現する/様々な表現方法/形容詞
17	第13課　一度遊びに来てください　相手の意思をたずねたり、誘ってみる/可能・不可能の表現
18	後期学んだ文法、語彙の習得度確認
19	評価週　1年間学んだ成果確認

教科書等	最新チャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子著/白水社) 進度に応じて、ちょこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔栄美著/白水社) 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度(50%)学習意欲(30%)提出物(20%) 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	韓国語　Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/裵英實		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	36	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ヴォーカルコース	

授業概要	「最新！チャレンジ韓国語」とシリーズ続編となる「もっとチャレンジ韓国語」を用いて学習する。 日常的な場面で、自然に韓国語で会話できるようになる事を目指す。 レベルにより一年次後半「ちょこっとチャレンジ」を学習した場合は重なる学習項目がある為、進度においては変更もあるものとする。 検定前には検定対策を実施。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	1年次のおさらい 第1課　空港へ出迎え（先行動作/勧誘）（動詞・存在詞の現在連体形/時間・場所）
2	第2課　部屋探し（理由/推測/意思）（過程/条件/形容詞の現在連体形）
3	第3課　自己紹介（動詞の過去連体形/順序）（経験/時間の経過/願望）
4	第4課　ソンミンの家で（尊敬）（婉曲/紹介/説明）
5	第5課　帰り道（推測/傾向）（感嘆/変化）
6	第6課　百日記念日（列挙）（不可能）
7	第7課　引越しパーティの日（指示/理由・判断の根拠）（義務/状態の継続）
8	第8課　汽車に乗ってお出かけ（してくれる・してあげるの表現）（回想・反復・習慣・未完了の過去連体形）
9	評価週　これまで学んだ文法、語彙の習得度確認
10	第9課　村の風景（原因・理由）（見た目での推量/打消し・禁止）
11	第10課　ソンミンさんを訪ねて(不可能/禁止・命令)(アドバイス/前置き・根拠)
12	TOPIK　対策
13	TOPIK　対策
14	TOPIK　対策
15	第11課　下宿に帰って（間接話法）
16	第12課　診察を受ける（感心/推量や意思を根拠にした理由）（許可/禁止）
17	第13課　和解（強い主張/間接話法の疑問文）（体験/パンマル）
18	第14課　悲しみよ、さようなら（予断・思い込み）（意図）
19	評価週　２年間学んだ成果確認

教科書等	ちょこっとチャレンジ韓国語（金順玉、阪堂千津子、崔栄美著/白水社） 進度に応じて、ちょこっとチャレンジ韓国語（金順玉、阪堂千津子、崔栄美著/白水社） 各レベル別に担当指導講師独自の教材を用いる事もある。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	TOPIK　Ⅰ　検定対策授業			実務授業の有無	×
担当講師	裵英實/李ウンジョン/平川真由美		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	選択必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ヴォーカルコース	

授業概要	K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、TOPIKⅠ（1級～2級）合格に必要な傾向と対策を理解し、聞き取り力と読み取り力を身につける。 副教材として初級単語800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。 今年度受験終了後はTOPIKⅠ振り返りとTOPIKⅡへ向けた準備の学習を進める

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	TOPIKⅠの試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 出題の流れ、手順の説明と過去問から試験パターンを知る。
2	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIKⅠ検定振り返りおよびTOPIKⅡ準備
16	TOPIKⅡ準備
19	評価週　1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	韓国語能力試験TOPIKⅠ（初級）完全対策 韓国語能力試験TOPIK1，2級　初級単語800 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度（40%）検定結果（20%）学習意欲（20%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	TOPIK　Ⅱ　検定対策授業			実務授業の有無	×
担当講師	裵英實/イ　ウンジョン/平川真由美		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	選択必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース/K-POPダンス・ヴォーカルコース	

授業概要	K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。レベル別クラス編成とし、能力別にTOPIK3級以上を目指す。 「聴き取り」、「作文」、「読解」全ての項目に対し、過去問のパターンと問題を分析し、それを理解・応用して問題が解けるよう学習していく。副教材として中級単語1800を用い、合格する為の語彙力をアップさせる。今年度受験終了後は検定振り返りとより上級合格へ向けた準備の学習を進める

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①TOPIKIIの試験概要に対して説明し合格ラインを把握する。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
2	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	過去問実施及び解説
11	過去問実施及び解説
12	過去問実施及び解説
13	過去問実施及び解説
14	過去問実施及び解説
15	TOPIKⅡ検定振り返りおよび次回への準備
16	より上級を目指す為の対策
17	評価週　1年の振り返りと習得度の確認

教科書等	韓国語能力試験TOPIKⅡ（中・上級）完全対策 韓国語能力試験TOPIK3，4級　中級単語1800 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度（40%）検定結果（20%）学習意欲（20%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語　Ⅰ			実務授業の有無	×
担当講師	朱　貞淑		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	パソコンのハングル入力環境設定やキーボードの打ち方などの基礎から始まり、ビジネス上のメールのやり取りに必要とされる表現を学習し、韓国語を使う業界に必要なビジネス韓国語を学んでいく。「한컴타자연습」プログラムを用いて楽しくパソコンでハングルを打つ練習をじっくり取り組みながら、韓国語表現と韓国語でのコミュニケーションスキルの基本を身に付ける。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①ガイダンス　②韓国語のキーボート入力方法の基本と「한컴타자연습」使い方を学ぶ。
2	①覚えておきたい単語　②ハングルタイピング練習
3	①覚えておきたい単語　②ハングルタイピング練習
4	①書き出し・挨拶の言葉　②ハングルタイピング練習
5	①本文(感謝・謝罪)　②ハングルタイピング練習
6	①本文(依頼・アポイント)　②ハングルタイピング練習
7	①本文(通知・連絡)　②ハングルタイピング練習
8	①結びの言葉　②ハングルタイピング練習
9	①実用例文　②これまでの学習のまとめ、習得度の確認
10	①実用例文　②ハングルタイピング
11	①実用例文　②ハングルタイピング
12	①実用例文　②ハングルタイピング
13	①実用例文　②ハングルタイピング
14	①実用例文　②ハングルタイピング
15	①実用例文　②ハングルタイピング
16	①実用例文　②ハングルタイピング
17	①実用例文　②ハングルタイピング
18	①実用例文　②ハングルタイピング
19	①実用例文　②これまでの学習のまとめ、習得度の確認

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語　Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	黄　仁祚/裵英實		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	1年次学んだ基礎を応用して、この講義では様々なビジネス場面で使われる作文の表現を学ぶ。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 レベルチェック
2	実用文練習①
3	実用文練習②
4	実用文練習③
5	実用文練習④
6	短文練習①
7	短文練習②
8	短文練習③
9	短文練習④
10	調査結果説明文練習①
11	調査結果説明文練習②
12	調査結果説明文練習③
13	調査結果説明文練習④
14	長文練習①
15	長文練習②
16	長文練習③
17	長文練習④
18	長文練習⑤

教科書等	なし。講師によりプリントや教材を準備して進める。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	K-POP総合ゼミ			実務授業の有無	○
担当講師	小林美奈子/ゲスト講師		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	K－POPに特化した特別講義 音楽業界でK－POPは今や世界的にも一つのジャンルとして確立している。その業界を目指す為には韓国を知り、世界視野で物事を見る事のできるようになる必要がある。ここでは感覚的に知っているだけではなく、理論的に発表したり、行動する力を養う事を目的とする。授業は特別ゲストを招いた講義をメインに、実践を交えて展開し、最終的に研究成果としてのプレゼンテーションまでを導く。 特別ゲストの調整により回数、開催日時、講座内容は変更あるものとし、開催決定毎に随時案内する。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	K－POP業界を目指す為にまず何をするべきか考える。目標の設定 韓国企業研究①
2	韓国留学セミナー
3	韓国伝統と文化（特別講師）
4	韓国のメイク、カルチャー（特別講師）
5	K－POPビジネスゼミ（特別講師）
6	K－POPビジネスゼミ（特別講師）
7	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
8	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
9	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
10	K－POP業界を目指す為に、何をすべきか考える（目標の再確認） 韓国企業研究②
11	K－POPビジネスゼミ（特別講師）
12	K－POPビジネスゼミ（特別講師）
13	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
14	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
15	活動に沿った制作実践（翻訳、映像編集、アーティストプロデュース活動　など）
16	プレゼンテーション発表①
17	プレゼンテーション発表②

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	学習意欲（50%）課題遂行能力（50%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとにK-POP系特別講師・企業である。 (2022年度例) 韓国進路教育院、㈱ノースエレメンツ、STUDIO MARU、元ユジン氏、㈱CooGee　等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ライヴマーケティングⅠ			実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶/塩田美月（コーディネーター）		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	コンサート・ライヴビジネス、マネジメント、プロダクションの基本知識を学ぶ。 エンタテイメント業界やイベント業界の仕組み・業界の仕事（職種）など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽やイベントエンタテイメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界、あたらしいエンタテイメント業界についても知識を学ぶ。 前期には「SummerReview」後期には「GrandConcert」に向けての企画・制作・運営計画も含む。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽・イベントエンタテイメントビジネスとは？「音楽・イベントエンタテイメントビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	①アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の週得 （ヒルクライム元マネージャー/吉原氏）
3	②アーティストマネージャー経験のある講師による、マネジメント知識の週得 （ヒルクライム元マネージャー/吉原氏）
4	①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 （ライブポート東氏予定）
5	②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ （ライブポート東氏予定）
6	①プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。
7	②プロダクションによる講義。プロダクション業務やアーティスト育成・マネジメントについて学ぶ。
8	【ファンクラブ（サービス）】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。
9	前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト
10	後期1回目。 前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期の振り返り。
11	①ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん（予定）
12	②ユーチューバーによるマーケティング講義 チカコホンマさん（予定）
13	①アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の週得 （ヒルクライム元マネージャー/吉原氏予定）
14	②アーティストマネージャー経験のある講師による、プロモーション知識の週得 （ヒルクライム元マネージャー/吉原氏予定）
15	①実際に実施されるイベントへの参加に向けた、イベント企画制作と計画 （ライブポート東氏予定）
16	②実際に実施されるイベントへの参加。運営業務を元に実地で学ぶ （ライブポート東氏予定）
17	振返りのグループワーク・フォードバック等

教科書等	なし　授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題・グループワークへの取り組み、レポート課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	登壇講師 NEWSURPRISE LLC.吉原氏（元コンサルティング会社代表、過去にアーティストマネージャー経験あり） 株式会社ライブポート東氏（現イベント会社代表。新潟県内で多くのイベント事業を手掛ける） ユークリッドエージェーンシー石森代表（現音楽プロダクション代表） 吉本興行所属新潟住みます芸人、ユーチューバーのチカコホンマさん

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	ライブプロモーションⅡ			実務授業の有無	○
担当講師	椎葉克宏		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	現在日本の音楽ビジネスはライブが牽引してきましたが、その流れは今後も続くと予想されます。この授業ではそうした音楽業界の流れに適応できるよう、ライブプロモーションの仕組みを理解することをめざします。プロモーションの手法を身につけることで、それを自らの強みにしてください。

、

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【音楽業界のあゆみ①】　音楽ビジネスの過去
2	【音楽業界のあゆみ②】　ライブに支えられている現在の音楽業界
3	【音楽業界のあゆみ③】　自分たちより下の世代は何を考えている？
4	【ヒットとはなにか？①】 80年代のCity Popが注目される理由
5	【ヒットとはなにか？②】 90年代プロデューサーの時代の音楽
6	【ヒットとはなにか？③】 2010年代K-POPが日本にもたらしたもの
7	【ヒットとはなにか？④】 配信系アーティストはなぜ増えたのか？
8	【必要とされる人材①】　ライブの現場を見てみよう
9	【必要とされる人材②】　ライブビジネスと法律
10	【必要とされる人材③】　コミュニケーションの方法
11	【必要とされる人材④】　コンプライアンスとは何か？
12	【アーティストと共に①】 アーティストのセルフマネジメントとは？
13	【アーティストと共に②】 プロモーションとは何か？
14	【アーティストと共に③】 プロモーションの種類
15	【アーティストと共に④】 適切なプロモーションの方法
16	【アーティストと共に⑤】 アーティストのリスクについて
17	講義の振り返り

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	株式会社コロンブスコミュニケーションズ入社（S60年4月～S61年10月） 株式会社勁文社　ビデオ事業部（S61年10月～S62年3月）「月刊デ・ビュー」副編集長（H5年1月～H8年1月） オリコン株式会社に転籍　「キッズスタイル」事業部長（H14年7月～H19年7月）「オリジナルコンフィデンス」兼任編集長 令和2年4月　京都芸術大学映画学科、昭和音楽大学音楽表現学科、日本経済大学芸創プロデュース学科、、代々木アニメーション学院の非常勤講師として勤務

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デザイン実習Ⅰ			実務授業の有無	×
担当講師	中野和音/塩田美月		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	36	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	Illustratorクイックマスター CC・問題集 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	Photoshop検定講座		実務授業の有無	○	
担当講師	藤崎　哲弥		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	36	時間
対象学科			対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	Photoshop検定の対策講座。 前期では後期の問題集を解くための対策や基本的な使い方を覚えます。 実際にSNS等で見かけるコラージュ等の作品を通してより実践的に面白いツールであることを理解します。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	■イントロダクション Photoshopの紹介・SNS等での使用事例・UI・ショートカットなどの紹介
2	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
3	■猫コラージュを通して基本操作を学ぶ 画角の設定・色調補正・選択ツールの使い方などの基礎的な操作方法を覚える。
4	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
5	■猫コラージュ2を通して基本操作を学ぶ マスク・レイヤー・パスツールを理解する。
6	■ネットミームを通して、特殊効果ツールを理解する。 文字、図形等の作成・グラデーションツールを理解する
7	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
8	■教科書を通して改めて基本用語・出題の内容を理解する。 基本操作を覚えた上で教科書出題を解説していく。
9	■教科書内の出題を解いてみる 基本操作を覚えた上で教科書出題に挑戦・不明箇所を解説する。
10	■実技・実践問題集part1 実技・実践問題へ挑戦。
11	■実技・実践問題集part1 回答解説
12	■実技・実践問題集part2 実技・実践問題へ挑戦。
13	■実技・実践問題集part2 回答解説
14	■休題・名刺・コラージュ作品を作ってみる 自発的な制作を通して、問題集を解くだけでない実践的な制作・創作感を体感する。
15	■実技・実践問題集part3 実技・実践問題へ挑戦。
16	■実技・実践問題集part3 回答解説
17	■実技・実践問題集part4 実技・実践問題へ挑戦。
18	■実技・実践問題集part4 回答解説・全体のおさらい。

教科書等	Photoshop教科書・問題集 問題集冒頭ページなどに書かれている規定のフォントはダウンロードしておくこと。
成績評価	各作業進捗20%、授業態度および学習意欲80% 授業を重ねるごとにできることが増えていることが大事です。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ECサイト・WEBデザインの業務に3年従事。 個人でもコラージュ作品を制作してNFTなどを通した現代的な作品掲示をしている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	韓国カルチャーⅠ			実務授業の有無	×
担当講師	金　相範		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインKPOPビジネスコース	

授業概要	韓国の文化を勉強しながら、日本との共通点と相違点を学習する。より韓国への理解を深めることで、韓国人とのコミュニケーション能力向上を図る。昔ながらの伝統文化から、最近流行りの新文化まで幅広く勉強しながら、どの年齢層の人とも触れ合えるよう文化の間接体験を行う。この授業の目標は、様々な分野での韓国文化を理解し、韓国語学習に応用すると共に、韓国人とのビジネスでの円滑なコミュニケーションができるようにすることである。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国の挨拶・人の呼び方について
2	韓国の飲食文化①
3	韓国の飲食文化②
4	韓国の冠婚葬祭①
5	韓国の冠婚葬祭②
6	韓国の軍隊
7	韓国でよくいう「情」とは
8	韓国の「早く早く」文化と、気が短い韓国人
9	韓国の投資ブーム
10	韓国の祝日①
11	韓国の祝日②
12	韓国は競争社会①
13	韓国は競争社会②
14	韓国の比較文化①
15	韓国の比較文化②
16	韓国は学歴社会
17	韓国はどうして自営業が多いのか
18	韓国のPCルーム文化
19	韓国の宗教の現状

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	期末課題50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	デジタルマーケティング			実務授業の有無	×
担当講師	小野 憲人		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	34	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	インターネット時代に音楽アーティストに関わるうえで、必要となる考え方、ツールの活用法、事例から効果的なプロモーション方法などを学ぶ。また、デジタル時代における最低限の音楽ビジネス知識、著作権の考え方などについても学ぶ。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マーケットの現状と、インターネット時代に考えなくてはならないこと アルゴリズムの考え方
2	目標発表。学生運用のサマーレビュー＆Grand Concertアカウントの現状の課題の洗い出し
3	音楽ストリーミングサービスについて。仕組みとビジネスの仕組み。ディストリビューターの役割について
4	どう知ってもらうか？何をどう伝えるか？
5	「知ってもらい、聴いてもらう」ための運営 キャンペーンなどリリースやイベントに向けたプランニング１
6	リリースやイベントに向けたプランニング２
7	アナリティクスの活用１
8	アナリティクスの活用２ ショート動画プラットフォームへの向き合い方
9	前期授業の振り返り。中間試験
10	上期試験振り返り サマーレビューアカウント運用の振り返り
11	Twitter（Ｘ）「拡散の科学」
12	音楽サービスとしてのYouTube
13	【インターネット時代の権利ビジネス】原盤権と著作権
14	【インターネット時代の権利ビジネス】YouTube ContentIDと許可リスト
15	【インターネット時代の権利ビジネス】楽曲をカバーしたいとき、どうすればよい？
16	アカウント運用についてのディスカッション
17	下期授業の振り返り。期末試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業 参考講座：IMCJ Independent Next 2023, YouTube Artist Meet 2023
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	タワーレコード（株）レーベル制作部、（株）onepeaceにおいて、音楽アーティストのA&Rと、楽曲のデジタルディストリビューション、SNS運用を経験。その後フリーランスとなり、レーベルやマネジメント事務所に対してSNSを活用した音楽アーティストのプロモーションのサポートに従事。 2021～2023年の間、新潟で柳都アーティストファームにてRYUTistを運営。SHOW!、i-MEDIAの非常勤講師を担当

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	オンライン韓国語			実務授業の有無	×
担当講師	平川真由美/裵英實/黄仁祚/李ウンジョン/朱貞淑		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	52	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国系企業への就職は語学習得は必須であるが、単に文法を学ぶだけではなく、場面毎や検定対策で使う韓国語を理解する必要がある。ここでは、学習者の弱点をみつけ、繰り返し学習する事で、韓国語を自然に使えるようになる事を目標とする。 曜日ごとに担当講師がそれぞれ担当項目を受け持つ。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語文法
2	ビジネス場面で使う韓国語
3	TOPIK検定対策
4	ネイティブが使う自然な韓国語
5	韓国語文法
6	ビジネス場面で使う韓国語
7	TOPIK検定対策
8	ネイティブが使う自然な韓国語
9	韓国語文法
10	ビジネス場面で使う韓国語
11	TOPIK検定対策
12	ネイティブが使う自然な韓国語
13	韓国語文法
14	ビジネス場面で使う韓国語
15	TOPIK検定対策
16	ネイティブが使う自然な韓国語
17	韓国語文法
18	ビジネス場面で使う韓国語
19	TOPIK検定対策
20	ネイティブが使う自然な韓国語
21	韓国語文法
22	ビジネス場面で使う韓国語
23	TOPIK検定対策
24	ネイティブが使う自然な韓国語
25	韓国語文法
26	ビジネス場面で使う韓国語
27	TOPIK検定対策
28	ネイティブが使う自然な韓国語
29	韓国語文法
30	ビジネス場面で使う韓国語
31	TOPIK検定対策
32	ネイティブが使う自然な韓国語

教科書等	特定の教材なし 通常授業で使用する教材の他、講師独自で準備したテキスト等を用いる事もある。 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	オンライン韓国語　Ⅱ			実務授業の有無	×
担当講師	平川真由美/裵英實/黄仁祚/李ウンジョン/朱貞淑		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	52	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	韓国系企業への就職は語学習得は必須であるが、単に文法を学ぶだけではなく、場面毎や検定対策で使う韓国語を理解する必要がある。ここでは、学習者の弱点をみつけ、繰り返し学習する事で、韓国語を自然に使えるようになる事を目標とする。 曜日ごとに担当講師がそれぞれ担当項目を受け持つ。

授業計画

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語文法
2	ビジネス場面で使う韓国語
3	TOPIK検定対策
4	ネイティブが使う自然な韓国語
5	韓国語文法
6	ビジネス場面で使う韓国語
7	TOPIK検定対策
8	ネイティブが使う自然な韓国語
9	韓国語文法
10	ビジネス場面で使う韓国語
11	TOPIK検定対策
12	ネイティブが使う自然な韓国語
13	韓国語文法
14	ビジネス場面で使う韓国語
15	TOPIK検定対策
16	ネイティブが使う自然な韓国語
17	韓国語文法
18	ビジネス場面で使う韓国語
19	TOPIK検定対策
20	ネイティブが使う自然な韓国語
21	韓国語文法
22	ビジネス場面で使う韓国語
23	TOPIK検定対策
24	ネイティブが使う自然な韓国語
25	韓国語文法
26	ビジネス場面で使う韓国語
27	TOPIK検定対策
28	ネイティブが使う自然な韓国語
29	韓国語文法
30	ビジネス場面で使う韓国語
31	TOPIK検定対策
32	ネイティブが使う自然な韓国語

教科書等	特定の教材なし 通常授業で使用する教材の他、講師独自で準備したテキスト等を用いる事もある。 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	オンラインコミュニケーション実践			実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	17	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	週に1度、学習進捗状況の確認をしながら、担任とのコミュニケーションを深める為の時間。 オンライン過程では自己管理とモチベーション維持が求められる為、自らの活動を顧みる事で、自己の成長過程を実感する事を目的とする。 また、デジタル時代の就職には、画面を通しての自己表現力を養う必要があり、コミュニケーション能力の向上も目指す。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の進め方についての説明と入学直後の感想発表
2	1週間の活動確認とフィードバック
3	1週間の活動確認とフィードバック
4	1週間の活動確認とフィードバック
5	1週間の活動確認とフィードバック
6	1週間の活動確認とフィードバック
7	1週間の活動確認とフィードバック
8	1週間の活動確認とフィードバック
9	前期の活動確認とフィードバック
10	後期の目標確認とフィードバック
11	1週間の活動確認とフィードバック
12	1週間の活動確認とフィードバック
13	1週間の活動確認とフィードバック
14	1週間の活動確認とフィードバック
15	1週間の活動確認とフィードバック
16	1週間の活動確認とフィードバック
17	1週間の活動確認とフィードバック
18	1週間の活動確認とフィードバック
19	後期の活動確認とフィードバック

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	授業理解度（50%）学習意欲（30%）提出物（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校　授業シラバス

科目名	課題制作実習			実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	280	時間
対象学科	K-POPエンタテイメント科		対象コース	オンラインK-POPビジネスコース	

授業概要	テーマを決めてディスカッション等を繰り返しながら、課題制作に取り組む。 課題は音楽エンタメ関連にかかわる論文の作成を目指す。 音楽業界の研究に取り組んだり、地域へのボランティアやインターンシップに積極的に参加し、情報収集、企画、実践を重ねる事で、課題を制作していく。 この授業を通して、エンタテイメント業界で活躍する為に必要な「自ら考え行動する力」を養う事を目的とする。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の進め方と課題制作についての説明/研究テーマについてのディスカッション
2	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
3	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
4	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
5	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
6	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
7	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
8	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
9	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
10	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
11	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
12	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
13	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
14	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
15	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
16	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
17	中間プレゼン発表
18	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
19	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
20	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
21	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
22	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
23	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
24	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
25	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
26	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
27	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
28	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
29	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
30	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
31	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
32	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
33	研究テーマについてのディスカッション及び制作など
34	年間総まとめプレゼン発表

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	研究内容評価（50%）中間プレゼン評価（30%）学習意欲（20%） 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	